

文学部 教育学科 保育士課程

2018年度の保育士課程 1年生は22名(女子19名・男子3名)が履修することになりました。2年生(女子15名)は、2月～3月に保育実習Ⅰを終え、3年生(女子11名)は保育実習Ⅱを終えました。4年生(女子10名)は、学びの総仕上げとなりました。

本号では、**2018年度**の**保育士課程**の活動を紹介しましたのでどうぞご覧ください

1年生 大東保育士課程 6期生

4歳児を設定し、絵本の読み聞かせをしています。



絵本を読んでもらっている子ども役の学生も4歳児になったつもりで、楽しそうにそして真剣に聞いています。

後期の「保育課程論」で、指導計画を立案し、その計画を基に、模擬保育をしました。

保育者になりきって、絵本の持ち方や目線、声の出し方にも留意して…少々緊張していま～す



3年生 「乳児保育」の一環で、近くの保育園の2歳児の子どもたちに、遊びに来てもらいました。

- ①3月のまだ寒い日でしたが、子ども達は「おねえさんと遊びたい！」と張り切って元気に歩いてきてくれました。
- ②子どもも学生もはじめての出会いにドキドキワクワク！！
- ③「おねえさんここに入ってね。」とボールプールでちょっと困っているおねえさん先生でした。
- ④途中まで送りながら「楽しかったね！」「また遊ぼうね」と約束したものの、離れがたい子ども達とおねえさん先生でした。

1



2



3



4



2年生 2、3月には保育所、社会福祉施設という2か所にそれぞれ2週間程度実習に行きます。

そのための準備学習と事後学習を行っていくのが「**保育実習指導I**」の授業です。まずは、保育所や施設の基礎的な知識を学ぶことから始め、実習で必要となる保育技術や心構えなどを学んでいきます。今年度は新たな試みとして板橋校舎近隣の保育所3か所（公立2園、私立1園）にご協力いただき、午睡明けから降園までの数時間のあいだ保育にプレ実習として参加させていただきました。

服装や身だしなみ、マナーといった社会人として必要な事柄の確認はもちろんですが、何より子ども達と直接触れ合ったことで不安な気持ちをやわらげ、実習で子ども達に出会うことが楽しみになったようです。また、今年度は、実習前には保育士課程4年生と交流会を行ないました。2年生は、和気あいあいとした雰囲気の中、先輩のさまざまな体験談を聞いて、実習に対する不安や疑問が解消するよい機会になったようです。

エフロンシアター : 「おおきなかぶ」



手遊びの実践

絵本の読み聞かせの実践



4年生 保育士課程での学びの総まとめ「**保育実践演習**」の授業では、今年度は「**保育における防災教育を考える**」をテーマに、保育所や社会福祉施設などにおける**防災教育の実態を調べた壁新聞を作成するグループ**、**保育所における防災教育を具体的に考える実技グループ**に分かれてワークを行いました。2018年は震災や大雨などさまざまな災害が日本各地で起きるなど、私たちの**防災意識**を高めていく必要があると感じられた1年でした。このワークでは、**保育士という立場**で子どもや利用者の方々の命を守るためには、具体的にどうしたらいいのかを保育現場を想定して考えていくことで、「その時」に備える第一歩となったのではないのでしょうか。

:壁新聞:

「こんなときどうする?」



:手頭紙芝居票:

「地震が起きたらどうするの?」



:新聞紙ゲーム:

「災害の時に必要な協力を学ぶ」



2019年 オープンキャンパス

☆板橋キャンパス 7月14日(日) ☆東松山キャンパス 8月16日(金)

☆東松山キャンパス 7月21日(日) ☆東松山キャンパス 8月17日(土)